

エネルギー教育関連教材

教材名：「放射能鉱物標本（9種）」No.18

領域・学年：理科・中学校3学年

単元：エネルギー利用の課題

目標：エネルギー資源について関心を持つ。

内容：

水力発電，火力発電，原子力発電のしくみについて理解すると同時に，それらの長所と短所を考えさせるのが本単元の課題である。

原子力については，ウランなど燃料となる資源が有限であることは理解されていないのが現状であった。鉱物標本を見せることにより，原子力の燃料も化石燃料と同様に限りある資源であることが理解できた。そして，我々がエネルギーを得るうえで，今後どのような点に留意すべきかを考えるきっかけとなった。



児童・生徒の感想：

- ・エネルギーを得るためにいろいろなものを利用していることが分かりました。
- ・原子力はいくらでもエネルギーを出せるのかと思っていた。こんな岩石が燃料のもとになっているのだと知り驚いた。
- ・原料がこの鉱物なら，使い終わった後の燃料はどれぐらいの量になるのか興味をもった。
- ・地球の資源は大切に利用しなければならないと思った。